

# 学校だより

11 インディアナ日本語学校  
No24 (10月)全校生354人



不満だ~!



## 死ぬまで言っとけ!

先日、全世界に派遣されている校長の研修会がありました。不平・不満を述べる以上に、改善に繋がる提言を聞きたいと思いました。「不満は、死ぬまで言っとけ!」と言いたいところですが、何歳になっても、不満は言いたいのでしょう。提言が出来る人の顔は生き生きとしていて、不満だけの人の顔はそれなりの顔でした。私の研修写真を見ましたが、髪が相当薄くなっていました。提言派なのか不満派なのか、判断しかねる顔になっていましたので、気をつけたいと思います。

- 1 参観日(11月5日)
  - 幼・小 : 1校時(9:05~9:50)
  - 中学部 : 3校時(11:00~11:45)
  - 高等部 : 3校時(11:25~12:25)
- 2 漢字能力検定(11月5日)
  - 会場 : カフェテリア
  - 2~7級 : 14:30~15:10
  - 8~10級 : 14:30~15:30
- 3 バザー(11月5日)
  - 会場 : カフェテリア
  - 時間 : 10:00~12:00

## 文章を書こう

|   |   |
|---|---|
| <p>2年</p> <p>キング <small>はな花</small></p>   | <p>きょう、わたしの上のはが、1本ぬけました。わたしが、お昼をたべていたとき、はを2回かんだあと、なにかへんなかんじがしました。ゆびでさわろうとすると、とれてちがいはいっぱい出ました。だれかが、「花ちゃんのはがぬけたよ」と大きな声を出しました。みんなが、わたしの方を見ました。ぬけたはは、思ったより小さくてかるかったです。ほけんしつで小さい入れものにいれてもらいました。</p>   |
| <p>2年</p> <p>まつもと <small>じょう文</small><br/>松本</p>  | <p>今日、ぼくのおかあさんが、肉じゃがをつくってくれました。ぐは、糸こんにゃく、じゃがいも、にんじん、肉、たまねぎがなどはっています。すごくおいしかったです。おに糸こんにゃくがなかったので、おかあさんは、こんにゃくをたてになん本もきり、それをつかいました。そしたら、すごくごたえがあって、おに糸こんにゃくよりよかったです。ぼくは、おかあさんのりょうりがだいすきです。</p>    |
| <p>3年</p> <p> <small>あおい蒼</small><br/>くぼた <small>あおい蒼</small><br/>久保田</p>    | <p>【何でもパソコン】あなたは、「こんな物があつたらいいな」と、思ったことはありますか。わたしは、「何でもパソコン」があつたらいいなと思います。そのパソコンは、ふつうのパソコンのように、ものを調べたり、テレビを見たり、買い物をしたりできるパソコンです。さらに、ほしい物をけんさくすると、画面から出てくるのです。たとえば、本の題名をけんさくすると、その本が、出て来るのです。ふつうはお金をはらわないといけなのに、このパソコンから出てくるものは、全部ただなのです。わたしが、「何でもパソコン」があつたらいいなと思ったのは、食べ物や本やほかの物にお金をはらわなくていいからです。好きな物や好きな食べ物が、いつでももらえるっていいと思いませんか。みなさんは、どんな物がほしいですか。</p>  |
| <p>5年</p> <p> <small>たかふみ</small><br/>こばやし <small>たかふみ</small><br/>小林 誉史</p> | <p>【『先生のつうしんぼ』を読んで】この本には、小学3年のクラスでおこった色々な出来事が書かれています。五郎は、どのクラスにもいるふつうの男子ですが、ないしょで先生のつうしんぼを書いています。先生は、にんじんが大きらいで、給食の時は口をふいているふりをして、にんじんを口から出しているのを見つかり、つうしんぼで、「もう少し」をとるような先生です。ぼくが、一番心に残った場面は、かいこの場面です。おばあちゃんにかいこをもらって学校で育てることになり、かいこからまゆが出来るまでのやさしい心とがまん強さが、ぼくの心に残りました。ぼくは、前にかぶと虫をかっていたことがあります。すぐ死なせてしまいました。だから、まゆから糸までとることは、すごく大変なことだと思えます。命を育てることはむずかしいけど、すごく大切なことだと思えました。</p>  |
| <p>中2年</p> <p> <small>りかこ</small><br/>やの <small>りかこ</small><br/>矢野 里香子</p>   | <p>【アメリカに来て】今年の3月でアメリカに来て3年が経ちました。初めて現地校へ行った日、私はとても不安でした。もちろん英語なんて話せないし、相手の言っていることも理解できません。質問されて意味が分からなかった時は、必ず、「Yes」と答えていました。アメリカ人友達はわたしを助けてくれましたが、全く意味が分かりませんでした。日本人も学年に一人だけだったので、私はその子ばかりを頼っていました。友達は、2・3日ですごく増えましたが、私は日本人がいる学校に転校しました。日本人のいる学校では、手伝ってもらったり一緒に遊んだりしてとても楽しい毎日でした。しかし、6年生になって再び最初の学校に戻ったとき、英語の意味は何となく理解できても、自分が話せないことに気づきました。日本人のいる中において、英語を話さなければ上達しないことを知り、後かいしました。私は、中学校に入って、「自分から話していかなきゃいけない」ということも学びました。その後、現地校でも日本語学校でも友達がたくさん出来ました。今は、周りにいる友達に出会えたことはすごいことだと思っています。アメリカに来られたことをとても感謝しています。</p> |